

会議録

（ 第1回京田辺市中学校昼食等検討委員会 ）

京田辺市教育委員会

平成28年11月28日開催

第1回京田辺市中学校昼食等検討委員会会議録

委員会名	第1回京田辺市中学校昼食等検討委員会
日時	平成28年11月28日（月）午後3時30分～午後5時25分
場所	京田辺市役所 3階 301・302会議室
出席委員	<p>学識経験者（同志社大学教授）</p> <p>小中学校校長会代表（京田辺市立田辺東小学校長）</p> <p>小中学校教頭会代表（京田辺市立三山木小学校教頭）</p> <p>小学校に通う児童の保護者の代表（京田辺市立大住小学校PTA）</p> <p>中学校に通う生徒の保護者代表（京田辺市立田辺中学校PTA） （京田辺市立培良中学校PTA）</p> <p>中学校教諭代表（京田辺市立田辺中学校教諭） （京田辺市立大住中学校教諭） （京田辺市立培良中学校教頭）</p> <p>栄養教諭代表（京田辺市立薪小学校栄養教諭）</p> <p>公募により選出された委員（一般市民）（一般市民）</p> <p>教育部長</p>
欠席委員	中学校に通う生徒の保護者代表（京田辺市立大住中学校PTA）
事務局	<p>山口恭一教育長・古川義男教育部副部長・佐路清隆学校環境整備課長</p> <p>小畑裕子学校環境整備課保健給食係長・松浦幸司学校環境整備課主任</p>
内容	<p>1 委嘱状交付</p> <p>2 委員長及び副委員長の選出</p> <p>3 諮問</p> <p>4 委員会の会議の公開・非公開等について</p> <p>5 中学校昼食等検討委員会の検討スキーム</p> <p>6 報告 前回の京田辺市中学校昼食等検討委員会</p> <p>7 中学校昼食の現状</p> <p>8 デリバリー方式による選択式注文弁当のあっせん事業について</p> <p>9 その他</p>
傍聴者	9名

1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長挨拶

山口教育長	<p>皆さんこんにちは。寒い中、今日は京田辺市中学校昼食等検討委員会にお集まりいただき誠にありがとうございます。京田辺市中学校給食等検討委員会を設置にあたり、同志社大学の真山先生をはじめ皆様には学校関係者、保護者代表の皆様並びに今回、新しく公募によります公募委員の皆様、委員としてご依頼申し上げましたところご快諾いただき厚くお礼申し上げます。</p> <p>京田辺市の中学校昼食ですが、従来から本市では弁当の持参をお願いしています。卒業式の答辞など聞いていますと、お母さんが作ってくれたお弁当の思い出などが出てきて、子ども達にとって大変思い出深いものなのだとつくづく感じるものでございます。一方で昨今の食育の重要性や、家庭の状況の変化などから中学校における昼食をどうするか議論がされています。本市の市議会におきましても、平成22年に中学校給食を求める請願というのが提出され、趣旨を採択するという結果になっています。これを受けて、平成23年8月には、教育委員会に中学校昼食等検討委員会を設置し、平成25年3月に現在実施をしているデリバリー方式による選択式注文弁当事業を実施するという提言をいただいております。</p> <p>その中で、今後もより良い中学校昼食の方法について、引き続き検討を続けていくことも提言をいただいております、その点に基づいて、改めて検討委員会を設置したところです。そして平成26年1月には、この提言の方式が、どう実現するか、家庭弁当を基盤にはするのですが、現在のデリバリー方式による選択式注文弁当という方式を取り入れ、家庭から弁当が持って来られない際に、代わりになるものを提供する事業を始めました。</p> <p>中学生の昼食を考える際の重大なポイントとしていくつかあり、ひとつは、実際、昼食を食べる子ども達の思い。保護者の考え方、教育活動の整合、こういうことが必要になるかと思えます。昼食を考える上で、その方式や、手法など、条件的なものも含めて検討が必要かと思われます。皆様には大変タフな議論をお願いするかと思いますが、よろしくお願いします。</p> <p>中学生の楽しみにしている昼食ですので、是非、議論が楽しく、明るく、有意義な議論ができますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いします。</p>
-------	--

4 委員の紹介及び自己紹介

5 市職員等の紹介及び資料の確認

6 委員長及び副委員長の選出

京田辺市中学校昼食等検討委員会設置規則第3条の規定に基づき、委員の互選により、委員長及び副委員長を選出。

委員の互選により、委員長に真山委員、副委員長に村中委員選出

7 諮問

教育委員会より京田辺市中学校昼食等検討委員会へ諮問

～ 教育長 退席 ～

8 委員会の会議の公開・非公開等について

委員会の公開、非公開について、京田辺市審議会等の会議の公開等に関する指針に基づき、取り扱うことについて、委員会で決定いただく。

9 議事

(1) 中学校昼食等検討委員会の検討スキーム

委員長	<ul style="list-style-type: none">・それでは、次第9、議事に入ります。本日は、5件ございます。・まず、議事（1）として、中学校昼食等検討委員会の検討スキームについて、事務局より説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・中学校昼食等検討委員会の検討スキームについて、説明いたします。資料1のご準備をお願いします。 <p>～ 事務局より説明 ～</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none">・資料1にありますように、まず現行事業の検証をし、どのような状況なのか確認する必要がある。問題点を明らかにし、課題を抽出する。その上でどのような解決方法があるのか、さらには将来にわたりよりよい方向としてどのような方法があるか検討した上で、当面、どのような方向性があるのか第1段階で一定の方向性を明らかにし、結論、中間まとめ次第では、さらなる新しい方法を検討という第2段階の検討に入る。大きな流れとしてはこういうことで、今は、個別、具体的にどのような項目について検討する必要があるのか、例示をいただきましたが、いずれも重要な観点だと思いますが、これに従わなければならないというわけではなく、皆さんの色々な考えの中で新たな論点も出てくるでしょうし、物によってはさほど議論する必要がないものもあるかもしれない。その辺は議論の進展次第と思っています。大きな流れとしてはこのような形で、ご了解いただけますでしょうか。
委員全員	<ul style="list-style-type: none">・意義なし。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。スキームとしては概ねこのような形で進めていくということで、お願いします。終期がないのは怖いところですが、いいところでまとまれば、また、良い案がまとまるのであれば、早い方が、早く子ども達に効果が及びますので、あまりだらだらということでもなく、逆にあまり拙速に進めないということに進めたいと思います。
-----	--

(2) 報告 前回の京田辺市中学校昼食等検討委員会

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・次に、議事（２）として、前回の中学校昼食等検討委員会について報告ということで、事務局から説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、中学校で実施しているデリバリー方式による選択式注文弁当について、これまでの経緯をご説明申し上げます。資料２－１、資料２－２をご準備下さい。 <p>～ 事務局より説明 ～</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の検討委員会の検討内容と提言を説明いただきました。これに基づき、現状の確認となり、大きな流れをご説明いただきました。今の説明につきまして、ご質問ございましたら、出していただいたら結構かと思います。現状については、委員の皆さまご存知なことと思いますが、今の状況もご覧になってのご意見でも結構ですので、お願いします。先ほど説明のあった前回の検討委員会の報告と現状についてご質問、ご意見ございましたらお願いします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私、前回の検討委員会でのアンケートとその結果について、ちょうど仕事を退職していたので、中学生や小学生のお母さん方から話を聞いていて、アンケートの結果もいただいています。先ほど、説明にあったように子ども達はお弁当が良く、お母さんは給食がいいと考えが逆転していることが書かれていましたが、当時いただいた資料では、家庭の弁当を持って来られない子ども達が４４人いました。弁当を持って来られない時、何を食べていますかに、市販のパンやおにぎりと４６５人。そして食べないという子どもも８人いました。他の項目で、朝食を食べてきたか、食べてきていないかの質問もありました。もし、お昼を食べてない子どもが、実は朝ご飯も食べていない子どもであったらどうなのか。また、朝ご飯を食べていない子どもも多い。こんな実態に驚きました。次のアンケートがどんなアンケートか気になりますが、子どもの食事情、「７つのこ食」と言われている現状で、一番の発達する時にお昼を食べない子どもがいる。夕方４時か５時まで学校にいる。どういうことなのか。朝食を用意されていない子どももいる。前回のアンケートから何年経

	<p>っているのでしょうか。私、一部の子どもかもしれませんが、日本全体で子どもの貧困問題が取り上げられている中、目を向けないといけないのではないかとその時思い、今、とても関心を持っています。子どもの食の実態。子どもは本当のことを言わない、機密を守られる状態のアンケートにしておかないと、本音を書いてくれない。今の子ども達の言っていることと、実態は違うかもしれない。思春期のプライドを理解しながら、把握しないといけないのではないかと。</p>
委員長	<p>・前回の報告書を取りまとめるにあたって、前回の検討委員会でアンケートをとられ現状把握に努められた。それについて、報告書の中にどれだけ結果を織り込めたのか。アンケートについてはさらっと書かれている程度のような気がする。今回もアンケートで現状の把握、子ども達の状況、意見など調べられると思うのですが、まとめ方についてどれだけ現状を知り、昼食だけでなく、朝ご飯も含めて、食全体が今、子ども達の中でどうなっているのか。報告書の中に盛り込むかどうかはまた検討していく必要があると思います。提言として、こうしたらいいだけでなく、その前提になっている状況をしっかりと述べることはあってもいいかと思います。ほかになにかございませんか。</p>
委員	<p>・お弁当業者が都フーズから（株）一番に替わった理由は何ですか。</p>
事務局	<p>・都フーズから注文弁当事業から撤退したいという申し出があり、今年度より替わった次第です。当初、業者が見込んでいた数より利用数が少なかったかもしれません。</p>
委員	<p>・メニューが悪かったとかそういうことではないのですか。</p>
委員長	<p>・業者側が下りたのですね。</p>
事務局	<p>・はい、そうです。</p>
委員長	<p>・採算が合わなかったのでしょうか。ほかになにかございませんか。前回は前回でご苦労いただき、報告書をまとめていただき、今日のベースになっている。実際にデリバリー方式をやってみて、新たにわかった問題点や課題点も当然あるかと思います。前回の検討を参考にしながら、改めて検討していく。報告書の内容はお読みいただいたら結構かと思います。ひとまずこの点については、よろしいでしょうか</p>
委員全員	<p>・異議なし</p>

(3) 中学校昼食の現状

委員長	・次に、議事（３）として、中学校昼食の現状について、事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>・では中学校昼食の現状について説明させていただきます。資料３の１、２、３、４、５をご準備下さい。順番に説明させていただきます。</p> <p>～ 事務局より説明 ～</p>
委員長	・今の説明でなにかご質問ございませんか。
委員	・資料の３－４で、京都市の選択式デリバリー方式が給食となっているのは、どうしてですか。京田辺市で実施している事業と同じように思うのですが。
事務局	・京都市の６６校の選択制デリバリー方式については、学校給食法の改正前から選択制デリバリー方式を給食だということで実施されていた経過の中で、給食という扱いになっています。改正された後の学校給食法では、全員喫食が加わっているの、改正後に実施した京田辺市の方式は給食とならない。
委員	・補足させていただきます。学校給食法に沿って学校給食実施基準というのがあり、この中で全員を対象にすることを基準として決められました。方式的には同じなのですが、それ以前からやっておられたところは給食とされ、京都市については給食とカウントされています。この基準ができた以降に実施している京田辺市については、給食としてカウントされません。先ほど説明にあった資料３－２の給食実施数の中に京都市が入っています。そういう見方をしていただく必要があろうかと思います。
委員長	・ほかになにかございませんか。
委員	・法律等が途中で変わったと私も聞いています。子どもの貧困の問題とかで全員にきっちりと給食を、食を提供することが必要だから、それを入れないと給食としなくなり、法律が変わったと聞いています。「全員喫食」が加わった理由はなにですか。すべての子どもに食を提供しないと、本当に都市では食べていない子どもが多く、その為に全員喫食が加わったと聞いています。
事務局	・学校給食法については、昭和２９年に制定され、戦後すぐに作られた法律であり、学校給食普及充実を図るため、当時の栄養不足の解消が目的で定められたと聞いています。それが平成２０年に大幅に改正され、食育の推進を図ることを目的に追

委員長	<p>加されたということで、給食法が変わったところです。貧困で昼食が食べられない子どもの対応として全員喫食を加えられたのかということについては、勉強不足で申し訳ございません。次回、委員会までに調べておきます。</p> <p>・では、今の法改正の主旨については、事務局で調べていただくということで、次回、ご説明いただきたいと思います。</p> <p>・ほかになにかございませんか。中学校の給食については、近畿圏の実施率が低いのが特徴というか傾向ですね。これも全般的な傾向ですので、今後の議論の中で、これも含めて議論いただければと思います。</p>
-----	--

(4) デリバリー方式による選択式注文弁当のあっせん事業について

委員長	<p>・次に、議事（４）として、京田辺市の現状となるのですが、デリバリー方式による選択式注文弁当のあっせん事業について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>・説明の方、前半と後半に分けさせていただきます。資料４－１、４－２、４－３をご準備下さい。現在デリバリー方式による選択式注文弁当のあっせん事業の現状について、説明させていただきます。</p> <p>～ 事務局より説明 ～</p>
委員長	<p>・現在のデリバリー方式による選択式注文弁当のあっせん事業の現状について、説明いただきました。ご質問等ございませんか。</p>
委員長	<p>・特にございませんか。では、続きを説明をお願いします。</p>
事務局	<p>・資料４－４、４－５のご準備をお願いします。資料４－４は、中学校選択式注文弁当の利用状況について、ご説明します。</p> <p>～ 事務局より説明 ～</p>
委員長	<p>・利用状況について説明いただきました。では、改めてデリバリー方式による選択式注文弁当のあっせん事業について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p>
委員	<p>・資料を見ていると利用者が年々減少しているとのことですが。私も一度も利用し</p>

	<p>たことがなくて、申し訳ないのですが。昨年までの都フーズが弁当事業から撤退されたことから、この利用状況のままでは（株）一番も撤退してしまうかもしれないということですね。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・都フーズの前例があるので、その心配は多少しています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一保護者としてこの事業がなくなってしまうのは困ると不安に思っています。利用状況を増やしたい。注文弁当を利用していない子どもが全員、家庭からのお弁当を持って来ているのであれば、それでいいのですが。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・女の子でもちょうどいい量だと思うし、見た目もきれい。娘に美味しそうだと伝える時もある。「取りに行くのが面倒くさい」「机にこの弁当箱が乗っているのははずかしい」と言って、とらない理由のようです。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・「注文弁当の日」として取り組んでみてはいかがですか。保護者としては、「明日のお弁当は持って来なくていい」と言われたら嬉しいです。値段も高いものではない。この事業がなくならないように取り組みを考えなければいけない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど、資料４－４で説明された１日当たりの利用率をもう一度教えていただけますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・田辺中では、今月注文数が６２個、昼食実施日が１７日。１日平均を算出すると、１日当たり３．６個となります。田辺中の生徒数は７４３人なので、１日当たりの利用率は０．４％となります。中学校によって行事の関係で昼食実施日が多少変わって来ます。大住中であれば、１ヶ月５４個、昼食実施日が１８日、１日平均３個、生徒数７４０人で算出すると０．４％の利用率。培良中であれば、１ヶ月８１日、昼食実施日１９日、生徒数３２９人で算出すると１．２８％となります。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・現状が極めて少なく、だんだん減っている。その原因などについては、まだ十分な分析ができていない。これからということで。もうひとつは、このお弁当を注文していない子ども達がどのような昼食を取っているのかについても把握する必要がある。そのあたり、まだまだ不明な点がいっぱいあるので議論をすることができない。後ほど事務局よりご説明があるかと思うのですが、実態調査を兼ねたアンケートも予定されていると伺っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今、手元にある資料でわかる範囲、実態として色々経験されていることを含めまして、なにかご意見ございましたらお願いします。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のデリバリー注文弁当方式が理想的なものかどうかはさておき、もっといい方式を導入すると仮にしても、来年すぐに導入は無理でしょう。暫くの間、この方式を維持しなくてはいけない。先ほど、委員が言われたように、このままの状態で放置していると、この事業が破綻してしまうかもしれないという状況がある。理想を追求すると同時に、現状をどう乗り切っていくかを考えないといけないと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生はこのお弁当は利用されないのですか。違うお弁当を取っておられるのですか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年1月にデリバリー注文弁当事業が導入された時に私は中学校に勤めていました。当時、とても画期的なことが始まったと感じました。たくさん頼んでくれるのではないかという思いもありました。職員にも勧めました。結果的に職員も何回か食べましたが、いつもの業者のお弁当に戻りました。そこが現在の利用率に繋がっているのではないか。魅力のある、工夫が必要なのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先生も注文したくないお弁当なのですか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私の中学校では、最近も先生方もたくさん利用されています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今は多いのですか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、先生方の利用も多くなっています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実際、子どもから聞いたのですが、お弁当を配膳室まで取りに行かないといけない。例えば、1年生の教室は4階にあります。1年生、2年生、3年生と順番に上から下に教室があります。1年生だと4階から1階まで取りに行くのに時間がかかる。食べるにも時間がない。そういう点がデメリットになっている。限られた時間で昼食を採らないといけない。取りに行っているだけで5分の時間がかかる。それでゆっくり食べられない。お弁当であれば、その場ですぐ食べられる。うちの子も取りに行く友達について来てと言われて一緒に行くと、食べる時間が少なくなってしまう経験があるようです。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・正に、実際にやってみると見えてくる問題点がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど言われた先生が取られているお弁当はいくらですか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・500円ぐらいのお弁当です。

委員	<p>・我が家も上の子どもが中学生の時にこの事業が始まり、友達が食べているのを見てとってみたいと言ったのですが、女の子が食べると結構ボリュームがあるみたいで、揚げ物も多いと感じました。食育と言っても揚げ物が多い。お弁当に魅力がないのかな。果物もついていない。果物でビタミンCが採れるという魅力があればいい。値段的には魅力ではあるが、中身的に魅力が少ないのではないかな。毎日、実際、利用されているお友達がいるのも知っている。時間がない方が利用されるのは、便利だと思います。事業としてなくしてしまうことはないという考えは持っています。利用してみたいが、昼食時間が15分と短い中では利用しにくい。子どものそのような声を聞くと、親としても利用しづらい。</p>
委員	<p>・保護者としてこの事業の実施のお話を聞いた時、このシステムの予約、お金の状況がちょっと。その日に学校に行って、お金で直接、その場で買える、簡単なシステムであれば便利だと思う。今のシステムはコンビニにチャージ料金を払いに行かないといけない。親はそのシステムが面倒だと思う。便利な感じもしますが、もう少し注文し易い状態であればいいのではないかな。</p>
委員	<p>・さっきの昼食時間のことですが、時間なくてお弁当も残したと聞きます。中学校の先生も委員会や生徒会の集まりを時間がないから、お弁当を持って来て集まり、お弁当の時間に話し合うと聞いたりします。例えば、宇治田原の維考館中学校、井手の泉ヶ丘中学校も給食をしています。どのようにしているか中学校の先生に聞いてみました。すると、校時の中に給食の時間があり、京田辺市の昼食時間より5分長い。たった5分長いだけです。京田辺市はどこで5分を使っているのか。クラブ活動なのか。また、5分でも昼食時間を長くすることができるのではないかな。たいそうなことではなくて、できるのではないかな。実際にやっているところがある。他の学校の校時表を見たらわかると思います。</p>
委員長	<p>・今、多くの委員から昼食時間の問題について指摘をいただきました。これは昼食の仕組みだけではなくて、時間割との兼ね合いも考えないといけません。教育やほかの観念との兼ね合いが必要になってくると思われます。いずれにしても、昼食時間についても考慮の対象のなるのは間違いない。ほかにございませんか。</p>
事務局	<p>・先ほど、色々なお弁当業者で頼んでおられるという話がありましたが、事前にお弁当の献立を提示いただける業者について、前回の都フーズが弁当事業から撤退すると言われた時、色々な業者にあたりました。このシステムが使えること、事前に1ヶ月の献立を提示してくださる業者はものすごく少ないのが現状です。やはり、安い食材を今日仕入れ、それで弁当を提供するのであれば、対応ができるのですが、計画的に前日に用意をすることができない。中学校注文弁当に対応できる弁当業者は少ない。委員の皆さんに実際、どこか機会を設けて試食もお願いしたいと考え</p>

	<p>ています。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・是非、一度、食べてみたいですね。写真で見る限り美味しそうですね。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実際、子ども達に試食する場があってもどうか。見るのと食べるのは違う。全員で食べるのはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私はこの事業を初めて聞いた時、頼んでみようかと思った時、登録する手間もそうですが、中学校のほかの保護者から働いていないお母さんがこれを頼んだら手抜きに思われるから頼んだらあかんよとメールが届いた。頼むハードルが高くなりました。なにかのきっかけがないと頼みにくい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう話はあるかもしれないですね。他の方式をするにしても、方式の選択時点であまり想定していないことが入ってくることもある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど、京都市の話が出ていましたが、京都市の実施状況も少なくなっているそうです。京都市も初めは一斉に実施されたのですが、年々、さっき言われたようなことが起こっているそうです。注文するのがし辛い。親の「親度」が、愛情を量られるようで、子どもがそれを感じて、自分の親がそういうことを思われたくないから頼みたくない女の子が多くなっていると聞きます。思春期の本当のことを言わない。アンケートをどのようにとられるか知りませんが、担任の先生が自分の回答だとわかったら、本当のことは書きたくないなど、それぐらい微妙な年齢です。自分の親が子どもの食生活に感心を持っていないことなど知られたくない。それぐらい子どもは親を守ろうとする。食べて来てなくても食べてきたと言う。先ほどのお母さん間でのメールもそうですが、暗黙の了解でそういうことが実際ある。京都市も利用率が減少していることがデータとして出ているので、選択制はどうかということもある。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・選択制は一見、合理的な手法に見えるのですが、実際やってみると色々な弊害やしがらみというか、色々なものが出てくる。そういう問題点があるということはよく知っておきましょう。ほかになにかございませんか。 ・今日でこの話が終わりということではありません。まだ今日は入り口ということで現状をご理解いただいて、また改めて問題点、考えを出していただくと、色々とお聞きになることになりますでしょうし、次回以降に現状の問題点については議論させていただくことになろうかと思います。今日は全体像を知っていただくという側面でひとまずこの辺にしようかと思います。

(5) その他

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事4が終わり、その他についてなにかございませんか。事務局からございますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局からその他ということで、アンケートについてですが、前回の検討委員会の際、実施したアンケートを基にし、前回のアンケート結果と現状との検証もしたいと考えています。そして現行のデリバリー方式の選択式注文弁当についての項目を追加したものを考えています。 ・アンケート（案）がまとまった時点で、委員の皆さんにお届けさせていただき、項目等にご意見いただき、再度まとめ直したいと考えています。 ・今年中にアンケート（案）完成、委員の皆さんの確認を終え、生徒及び保護者への配布をしたいと考えています。配布の時期については、中学校と日程調整をした上で決定したいと思っております。年明け早々になるものと予定しています。 ・アンケートの配布、回収、集計後、第2回目の検討委員会を開催していただきたく、来年2月の中旬から下旬頃を予定しています。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の検討委員会のアンケートに現行のデリバリー式注文弁当方式の実態を調査する項目を追加し、委員の意見にありましたように、親もそうですが、子どもの思いの部分、子どもがどう思っているか、是非引き出せばいいかと思います。また一方でそういう思いを聞けば聞くほど、プライバシーの保護というか、個人が特定できない工夫をしていただくことをお願いしたいと思います。では、事務局でアンケートを作成していただくということをお願いしてよろしいか。
委員全員	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし

まとめ

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、予定していた議事は以上です。ほかになにかございませんか。では、本日は以上でございます。この後の進行は事務局の方へお返しします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん、お疲れさまでした。次回の日程についてですが、先ほどの報告にもありましたように、この後、アンケート調査を作成し、皆さんにお配りいたします。その後、1週間ほどでご意見を回収させていただき、その意見を反映させ、中学生の生徒及び保護者へアンケートを実施したいと考えています。結果をまとめ、次回の

	<p>委員会は2月中旬から後半でお願いしたいと考えております。</p> <p>・それでは、以上を持ちまして、第1回京田辺市中学校昼食等検討委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
--	---

午後5時25分終了